

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
	W	G	S							
Q 建築物の環境品質・性能										
Q-1 室内環境										
1 音環境										
1.1 騒音										
1 暗騒音レベル										
2 設備騒音対策										
1.2 遮音										
1 開口部遮音性能										
2 界壁遮音性能										
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音										
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
1 室温設定										
2 換気熱源・温度制御性										
3 外皮性能										
4 ゾーン別制御性										
5 温度・湿度制御										
6 個別制御										
7 時間外空室に対する配慮										
8 監視システム										
2.2 湿度制御										
2.3 空調方式										
3 光・視環境										
3.1 昼光利用										
1 昼光率										
2 方位別開口										
3 昼光利用設備										
3.2 グレア対策										
1 透明部材のグレア										
2 昼光制御										
3.3 照度										
1 照度										
2 照度調整機										
3.4 照明制御										
4 空気環境										
4.1 発生源対策										
1 化学物質汚染										
2 化学物質対策										
3 デモ・カビ等										
4 レジオネラ対策										
4.2 換気										
1 換気量										
2 自然換気性能										
3 取り入れ外気への配慮										
4 給気計画										
4.3 運用管理										
1 CO ₂ の監視										
2 喫煙の制御										
F☆☆☆☆の材料を積極的に使用している。										
全館禁煙となっている。										
Q-2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
1 広さ・収納性										
2 高度情報通信設備対応										
3 バリアフリー計画										
1.2 心理性・快適性										
1 広さ感・景観										
2 リフレッシュスペース										
3 内装計画										
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震										
1 耐震性										
2 免震・制振性能										
2.2 部品・部材の耐用年数										
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔										
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔										
3 配管・配線材の更新必要間隔										
4 主要設備機器の更新必要間隔										
2.3 適切な更新										
1 床土(床板)・外壁仕上げ材の更新										
2 配管・配線材の更新										
3 主要設備機器の更新										
2.4 信頼性										
1 空調・換気設備										
2 給排水・衛生設備										
3 電気設備										
4 機械・配管支持方法										
5 通信・情報設備										

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
3 対応性・更新性					3.1	0.29	-	-	3.1
3.1 空間のゆとり				通常の階高よりも高く設定しており天井内のダクト設置が容易。 耐震壁が無い為、壁長さ比率が小さく開口部の設置が自由。	4.0	0.31	-	-	
1 階高のゆとり					4.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ					4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性					2.5	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性					2.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性					1.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22	-	-		
Q-3 室外環境(敷地内)					-	0.40	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出		G			2.0	0.40	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		G			3.0	0.20	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			S		2.5	0.40	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性									3.3
LR-1 エネルギー					-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制	W								
2 自然エネルギー利用					3.0	0.29	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				-	-	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	S			3.0	1.00	-	-	
3 設備システムの高効率化	W			照明器具は省電力型蛍光灯とLEDダウンライト等の採用、人感センサーによる消し忘れ防止を図り、節電効果を上げた。	5.0	0.43	-	-	5.0
4 効率的運用					3.0	0.29	-	-	3.0
4.1 モニタリング	W				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	W				3.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護					3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水	W				3.0	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材					3.2	0.85	-	-	3.2
2.1 資源の再利用効率					3.0	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率	W				3.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				3.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料				有害物質を含まない接着剤と塗料を採用している。	5.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性	W				3.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避					3.3	0.18	-	-	
1 消火剤	W			粉末消火剤のみの採用。	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材	W				3.0	0.33	-	-	
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.8
1 大気汚染防止	W				3.0	0.15	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.10	-	-	3.0
2.1 騒音					3.0	0.33	-	-	
2.2 振動					3.0	0.33	-	-	
2.3 悪臭					3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照障害の抑制					3.0	0.10	-	-	3.0
3.1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	
3.2 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制					3.0	0.05	-	-	3.0
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		2.0	0.30	-	-	2.0
6 地域インフラへの負荷抑制					3.6	0.30	-	-	3.6
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-	
6.3 交通負荷抑制				荷捌き用の駐車スペースを確保し出入りのし易い導入路として	4.0	0.30	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷	W	S		ゴミ保管庫を計画的に設置したり、除排雪のし易い配置として	4.0	0.30	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		工場	-	-	-	面積積分 総合スコア
		3,319 m2	-	-	-	
1	建物の熱負荷抑制	-	-	-	-	
3	設備システムの 高効率化	ERRによる評価	-	-	-	5
		個別設備による評価	5.0	-	-	
3.1	空調設備	-	-	-	-	
3.2	換気設備	-	-	-	-	
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	
3.4	給湯設備	-	-	-	-	
3.5	昇降機設備	-	-	-	-	